



2026年8月期 決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年10月15日

上場会社名 株式会社オーバーラップホールディングス 上場取引所 東
コード番号 414A URL <https://hd.over-lap.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 永田 勝治
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 管理部長 （氏名） 岸川 雄吾 TEL 03 (4213) 2770
定時株主総会開催予定日 2026年11月27日 配当支払開始予定日 2026年11月13日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の連結業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期	8,522	△0.2	2,392	△20.9	2,151	△25.1	1,599	△22.6	1,599	△22.6	1,603	△22.4
2025年8月期	8,535	1.6	3,026	40.7	2,872	61.9	2,067	80.1	2,067	80.1	2,066	80.6

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円 銭		円 銭		％		％		％	
2026年8月期	79.90		77.49		18.6		11.3		28.1	
2025年8月期	103.36		103.36		27.8		15.6		35.5	

（参考）持分法による投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

- （注）1. 当社は、2025年3月11日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。
2. 当社株式は、2025年8月期時点では非上場であり、新株予約権は存在するものの、権利確定条件に上場条件が含まれているため、2025年8月期の希薄化後1株当たり当期利益の計算に含めておりません。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円		百万円		百万円		％		円 銭	
2026年8月期	19,467		9,058		9,058		46.5		451.20	
2025年8月期	18,575		8,128		8,128		43.8		406.40	

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2026年8月期	2,320		△12		△1,214		3,889	
2025年8月期	1,398		△7		△1,367		2,796	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	親会社所有者 帰属持分配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭					百万円	％	％
2025年8月期	ー	0.00	ー	36.20	36.20	724	35.0	9.7
2026年8月期	ー	0.00	ー	44.00	44.00	883	55.2	10.3
2027年8月期（予想）	ー	0.00	ー	44.00	44.00		52.7	

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
	8,780	3.0	2,545	6.4	2,399	11.5	1,677	4.9	1,677	83.53

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	20,076,000株	2025年8月期	20,000,000株
2026年8月期	ー株	2025年8月期	ー株
2026年8月期	20,020,400株	2025年8月期	20,000,000株

（注）当社は、2025年3月11日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期	2,654	759.0	2,176	ー	2,124	ー	2,191	ー
2025年8月期	309	ー	46	ー	△6	ー	△59	ー

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	109.48	106.18
2025年8月期	△2.97	△2.97

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年8月期	12,717	6,375	50.0	316.41
2025年8月期	11,522	4,859	42.0	241.72

（参考）自己資本 2026年8月期 6,352百万円 2025年8月期 4,834百万円

<個別業績の前年度実績値との差異理由>

当年度において、当社子会社の株式会社オーバーラップからの配当金により、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益について、前年度実績値との間に差異が生じています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- （1）当社グループは、国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。
- （2）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- （3）当社は、2026年10月16日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社グループは、「マンガ・ノベル・アニメ・ゲーム・WEB——あらゆるメディアと多彩な才能をオーバーラップさせ世界に広がるIPを創り出し続ける。」という経営理念・経営方針のもと、業界の常識や、1つのメディアに縛られることなく、最適なメディアでコンテンツを生み出し、メディアミックスによって作品世界をさらに拡大・波及させていくことに挑戦し、業界・国境の垣根を越え、新しい才能とともにエンターテインメント業界の最前線へと駆け上がっていくことを目指しています。

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安によるインバウンド需要や賃上げなどの雇用改善により、生産、貿易、消費などの経済活動が緩やかな回復傾向となっている一方、資源エネルギーの高騰による物価上昇の影響を受け、実質個人消費の回復ペースは鈍化しております。当社グループを取り巻く事業環境としては、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版へのシフトによってコンテンツ自体に対する需要は底堅く推移しておりますが、過年度と比較して成長は鈍化傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは継続的な新規IPの創出と、保有する既存IP価値の維持向上への取り組みを継続することにより、着実に収益を積み上げております。当連結会計年度においては、当社グループが原作を保有するアニメ作品が4作品放映開始となるなど、当社グループが保有するIPをもとにしたメディアミックス展開への取り組みについても注力してまいりました。一方、当社の上場関連費用等の一過性の費用の発生や、単行本発売増加に向けた先行投資の拡大により、営業費用は増加しました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上収益8,522百万円（前期比0.2%減）、売上総利益4,020百万円（前期比11.4%減）、営業利益2,392百万円（前期比20.9%減）、税引前利益2,151百万円（前期比25.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,599百万円（前期比22.6%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の資産合計は19,467百万円（前連結会計年度末比892百万円増）となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,093百万円増加し、営業債権及びその他の債権が256百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

当連結会計年度末の負債合計は10,409百万円（前連結会計年度末比37百万円減）となりました。これは主に、長期借入金が215百万円、繰延税金負債が77百万円減少し、未払法人所得税が148百万円、営業債務及びその他の債務が123百万円増加したことなどによるものです。

（資本）

当連結会計年度末の資本合計は9,058百万円（前連結会計年度末比930百万円増）となりました。これは主に、剰余金の配当により724百万円減少し、当期利益1,599百万円を計上したことなどによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況について、現金及び現金同等物の残高は、当連結会計年度末には3,889百万円となり、前連結会計年度末（2,796百万円）に比べ1,093百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、2,320百万円（前期比65.9%増）となりました。これは主に、税引前利益2,151百万円計上並びに営業債権及びその他の債権の減少256百万円があった一方で、法人所得税の支払額556百万円、棚卸資産の増加額119百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、12百万円（前期は7百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出21百万円、利息及び配当金の受取額8百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1,214百万円（前期は1,367百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出6,657百万円、長期借入れによる収入6,300百万円、配当金の支払額724百万円等によるものです。

（4）今後の見通し

当社グループが主力としている漫画等のコンテンツに関連する市場は、紙出版の領域においては縮小傾向が継続している一方で、電子書籍等の領域は堅調に推移していくものと予想しております。

このような環境の中、当社グループにおいては、編集を中心としたコンテンツ創出を支える体制の更なる拡充に加え、当社グループが保有するIPのアニメ化などをはじめとするメディアミックス展開の取り組みについても強化

していく方針です。今後も新規IPの創出と、保有する既存IP価値の維持向上への取り組みを加速させることにより、企業価値の向上に努め、着実な売上成長を図ってまいります。

2027年8月期については、2026年8月期以前より継続して、編集者の採用・育成やクリエイターとのIP創出に向けた取り組みを積極的に推進してきた結果として、マンガを中心として刊行点数が大幅に増加することを見込んでおります。また、他社IP領域においても新規商材の発売を予定しており、売上の拡大を見込んでおります。

これらの結果として、2027年8月期の業績見通しにつきましては、売上収益8,780百万円、営業利益2,545百万円、税引前利益2,399百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,677百万円としております。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としており、配当性向40%を目安として配当を実施する方針であります。

当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議によって、これらの剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めております。内部留保資金につきましては、当社の企業価値を持続的に向上させるべく活用してまいります。

なお、当社は、毎年2月末日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

2026年8月期の配当につきましては、1株当たり44.0円の配当を実施する予定です。

2027年8月期の配当につきましては、配当性向40%を目安としつつ、業績、財務状況及び過年度の配当実績等を総合的に勘案し、1株当たり44.0円の配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2023年8月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,796	3,889
営業債権及びその他の債権	3,230	2,973
棚卸資産	291	410
その他の流動資産	221	187
流動資産合計	6,539	7,462
非流動資産		
有形固定資産	64	86
使用権資産	215	147
のれん	7,679	7,679
無形資産	3,986	3,925
その他の金融資産	73	73
繰延税金資産	—	73
その他の非流動資産	16	18
非流動資産合計	12,035	12,005
資産合計	18,575	19,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,566	1,689
借入金	486	470
リース負債	74	75
未払法人所得税	192	340
その他の金融負債	—	12
引当金	20	25
契約負債	65	64
その他の流動負債	528	561
流動負債合計	2,934	3,241
非流動負債		
借入金	5,931	5,715
リース負債	147	74
その他の金融負債	267	306
退職給付に係る負債	48	—
引当金	27	49
繰延税金負債	1,090	1,013
その他の非流動負債	—	9
非流動負債合計	7,513	7,168
負債合計	10,447	10,409
資本		
資本金	10	35
資本剰余金	4,993	4,295
利益剰余金	3,124	4,728
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,128	9,058
資本合計	8,128	9,058
負債及び資本合計	18,575	19,467

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）	当連結会計年度 （自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）
売上収益	8,535	8,522
売上原価	3,998	4,502
売上総利益	4,537	4,020
販売費及び一般管理費	1,510	1,621
その他の営業費用	—	5
営業利益	3,026	2,392
金融収益	3	17
金融費用	158	258
税引前利益	2,872	2,151
法人所得税費用	805	551
当期利益	2,067	1,599
当期利益の帰属		
親会社の所有者	2,067	1,599
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益（円）	103.36	79.90
希薄化後1株当たり当期利益（円）	103.36	77.49

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期利益	2,067	1,599
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△0	3
純損益に振り替えられることのない項目合計	△0	3
税引後その他の包括利益	△0	3
当期包括利益	2,066	1,603
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,066	1,603

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	
				確定給付制 度の再測定	
2024年9月1日残高	50	5,657	1,058	—	6,766
当期利益	—	—	2,067	—	2,067
その他の包括利益	—	—	—	△0	△0
当期包括利益合計	—	—	2,067	△0	2,066
減資	△40	40	—	—	—
配当金	—	△708	—	—	△708
株式報酬取引	—	4	—	—	4
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替	—	—	△0	0	—
所有者との取引額合計	△40	△664	△0	0	△704
2025年8月31日残高	10	4,993	3,124	—	8,128

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	
				確定給付制 度の再測定	
2025年9月1日残高	10	4,993	3,124	—	8,128
当期利益	—	—	1,599	—	1,599
その他の包括利益	—	—	—	3	3
当期包括利益合計	—	—	1,599	3	1,603
配当金	—	△724	—	—	△724
株式報酬取引	—	2	—	—	2
新株予約権の行使	25	23	—	—	48
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替	—	—	3	△3	—
所有者との取引額合計	25	△698	3	△3	△673
2026年8月31日残高	35	4,295	4,728	—	9,058

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	2,872	2,151
減価償却費及び償却費	255	186
受取利息及び受取配当金	△3	△8
支払利息	152	254
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△240	256
棚卸資産の増減額（△は増加）	△63	△119
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	234	105
その他の金融負債の増減額（△は減少）	△540	—
その他	△258	49
小計	2,409	2,876
法人所得税の支払額	△1,010	△556
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,398	2,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△21
無形資産の取得による支出	△1	—
利息及び配当金の受取額	3	8
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	6,300
長期借入金の返済による支出	△486	△6,657
リース負債の返済による支出	△60	△72
利息の支払額	△112	△109
新株予約権の行使による収入	—	48
配当金の支払額	△708	△724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,367	△1,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	24	1,093
現金及び現金同等物の期首残高	2,772	2,796
現金及び現金同等物の期末残高	2,796	3,889

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループはエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	2,067	1,599
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益（百万円）	2,067	1,599
加重平均普通株式（株）	20,000,000	20,020,400
普通株式増加数		
新株予約権（株）	—	622,688
希薄化後の加重平均普通株式（株）	20,000,000	20,643,088
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益（円）	103.36	79.90
希薄化後1株当たり当期利益（円）	103.36	77.49

- (注) 1. 2025年3月11日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。
2. 当社株式は、前連結会計年度において非上場であり、前連結会計年度の希薄化後1株当たり当期利益については、新株予約権は存在するものの、権利確定が上場条件付きとなっているため、希薄化効果の計算に含めておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。